

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2023 11
令和5年11月10日発行
No.122

やまのべ
議会だより

2023年11月号 VOL.122



**決して離すな！
俺らの陣地へGo！**

- 第2回臨時会 新しい議員の誕生！…… 2～3
- 定例会・決算認定 令和4年の主な重点事業 …… 4～5
- 決算特別委員会 暮らし向上にどう生かされたか？ …… 6～7
- 議案審議 より良いまちづくりを目指して …… 8～9
- 一般質問 町政のここはどうする？ …… 10～12
- 議会活動報告 新しい町への挑戦・イベント情報 …… 12～15

写真／山辺中学校 紅白の陣
(体育祭) (関連記事 16ページ)

山辺町議会
ホームページは
こちら

発行／山形県山辺町議会
編集／広報常任委員会

Eメール：gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112



一千年の間私たちを見守ってきた大杉

～議会からのメッセージ～

議会だより第117号の表紙を飾った、山辺町の貴重な文化財「杉下の大杉」が倒れていると第一報が役場に寄せられたのは7月13日でした。12日の夜から翌日の未明にかけて倒れたのではないかとのことです。

その連絡を受けて現場に行って確認したところ、勇壮な姿のあの大木が見るも無惨に根本から南に向かって崩れ落ちていました。地元の大寺の方々、また数多くの町民の皆さんに愛された大杉の最期でありました。

童謡にもあるように「村の鎮守の神様の…」と約一千年の間、杉下地区民を見守ってきた歴史を思うと本当に残念でなりません。

町民の皆さまには数々の伝説を有した蟠龍の大杉を心に刻んで、後世に語り継いでほしいと願うばかりです。



町民に愛された大杉



根元から倒れてしまった現在の姿

表紙の説明



山辺中学校「あたご祭」の紅白の陣(体育祭)が10月5日、6日に行われました。プログラムが進むうちに時折雨が降ることがありましたが、生徒たちは元気いっぱいです。すべての種目がチーム戦で、中学生らしいとてもパワフルな戦いを見ることができました。10月30日に行われた合唱祭をあわせて「あたご祭」と言います。今年から通常開催となり、あふれる笑顔が印象に残りました。

友好都市日立市へお見舞いを申し上げます

9月10日、熱帯低気圧に変わった台風13号に伴う記録的な大雨で、市役所付近の河川からの越水により、市役所地下電気室への浸水や、市内各所で複数の大規模な土砂崩れなどが発生しました。被災者の皆さまにお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧と通常の生活が営まれることをご祈念申し上げます。 議会議員一同

編集後記

あれほどの猛暑、酷暑が遠い日のように感じられます。広がる田園は黄金色の海となり、頭を垂れた稲穂もしつかりと刈り取られ、新米の季節を迎えています。

令和5年9月より4年間の議会活動がスタートし、議会だよりを担当する「広報常任委員会」の委員も新しくなりました。これまで同様、読みやすくわかりやすい記事となるよう努めてまいります。

皆さまのところへ取材に伺うこともありますが、その際には、ぜひ、笑顔でお迎えください。

竹俣 朋記

- 発行責任者 神保 穂
- 広報常任委員会 竹俣 朋記
- 委員長 村山 保
- 副委員長 遠藤 幸
- 委員 渡邊 真一
- 委員 佐藤 裕美
- 委員 鈴木 誠也

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<https://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



町民の幸せと

議会の活性化をめざす！

議長 神保 稔 氏
副議長 渡邊 裕二 氏

8月27日執行の町議会議員選挙で新しい議員が決まりました。新体制で初の臨時議会が9月1日に開催され、議長に神保稔議員、副議長に渡邊裕二議員が選出されました。

議長、副議長とも投票となり、議長選は神保稔議員、鍋倉竹志議員ともに6票を獲得し、抽選となりました。副議長選は、渡邊裕二議員7票、竹俣朋議員5票の獲得でした。各常任委員会委員、特別委員会委員などを選任し、4年間の議会活動がスタートしました。



議長あいさつ
神保 稔

このたび、9月1日開催の議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙をいただき議長に就任いたしました。未だ収束の見えない新型コロナウイルス感染症や燃料、物価、電力料金の高騰などで日常生活が大変厳しい状態となっております。また、少子高齢化や地震、集中豪雨などの自然災害への迅速な対応



副議長あいさつ
渡邊 裕二

など喫緊の課題が山積しており、議会としても町当局とより一層の連携・協力を図り、スピード感をもって諸問題に対処していく所存であります。町民の負託にこたえる責務を負う議会は、議員12名が信頼と尊重を堅持し、切磋琢磨しながら、地位・使命・職責を理解し認識してまいります。また、深刻化する議員のなり手不足などの諸問題にも真摯に立ち向かい、「町民の幸せづくり」と「積極的な議会活動」を目指して推進してまいります。

座右の銘は「名人は人を誇らず 己の長を説くことなかれ 他人の短を言うなかれ」自慢はせず、人のことを決して批判しない。そのような人間になれるようこれからも精進していきます。人口減少や少子高齢化社会の中、この町の人口も少しずつですが少なくなっています。住みたいと思っていた

ただける町、住んでよかったと思っていただけ町づくりに取り組んでいきたいと思えます。また、全国的に異常気象の中、「いつ」「どこで」どんな災害が起きるかわかりません。この町は比較的災害の少ない町ではあります。が、今後は『災害に強い町やまのべ』を目指し、安全で安心して暮らせる町になるよう努力してまいります。議長を補佐し、議会の雰囲気が出るくなるよう心掛け、より円滑な議会運営になるよう鋭意努力してまいります。

各委員会等の構成

◎委員長
○副委員長

- ◆総務文教常任委員会
 - ◎佐藤 利和 ○武田啓一郎
 - 神保 稔 遠藤真由美
 - 三浦 正好 鈴木 誠也
- ◆厚生産業常任委員会
 - ◎鍋倉 竹志 ○樋口 和男
 - 渡邊 裕二 竹俣 朋
 - 村山 幸一 日野 一春
- ◆広報常任委員会
 - ◎竹俣 朋 ○村山 幸一
 - 遠藤真由美 渡邊 裕二
 - 佐藤 利和 鈴木 誠也
- ◆議会運営委員会
 - ◎武田啓一郎 ○樋口 和男
 - 鍋倉 竹志 渡邊 裕二
 - 佐藤 利和 竹俣 朋
- ◆国道458号改良促進特別委員会
 - ◎渡邊 裕二 ○佐藤 利和
 - 樋口 和男 鍋倉 竹志
 - 武田啓一郎 遠藤真由美
 - 竹俣 朋 三浦 正好
 - 鈴木 誠也 村山 幸一
 - 日野 一春
- ◆最上川中部水道企業団議会議員
 - 武田啓一郎 佐藤 利和
 - 竹俣 朋
- ◆山形広域環境事務組合議会議員
 - 樋口 和男 渡邊 裕二
- ◆山形県後期高齢者医療広域連合議会議員
 - 鍋倉 竹志
- ◆山辺町監査委員（議選）
 - 遠藤真由美
- ◆山辺町振興審議会委員
 - 樋口 和男 武田啓一郎
 - 三浦 正好 村山 幸一
- ◆山辺町都市計画審議会委員
 - 渡邊 裕二 三浦 正好
 - 鈴木 誠也 日野 一春
- ◆山辺町社会教育委員
 - 佐藤 利和 鈴木 誠也
- ◆山辺町ふるさと資料館運営委員会委員
 - 村山 幸一
- ◆山辺町国民健康保険運営協議会委員
 - 樋口 和男 日野 一春
- ◆山辺町介護保険運営協議会委員
 - 鍋倉 竹志 竹俣 朋
- ◆山辺地域包括支援センター運営協議会委員
 - 鍋倉 竹志
- ◆山辺温泉保養センター運営協議会委員
 - 鍋倉 竹志
- ◆民生委員推薦会委員
 - 神保 稔 鍋倉 竹志
- ◆社会福祉協議会監事
 - 鍋倉 竹志
- ◆山辺町観光協会理事
 - 渡邊 裕二

令和5年 新しい議員の誕生！



原油価格、物価高騰への生活支援と

96億462万円

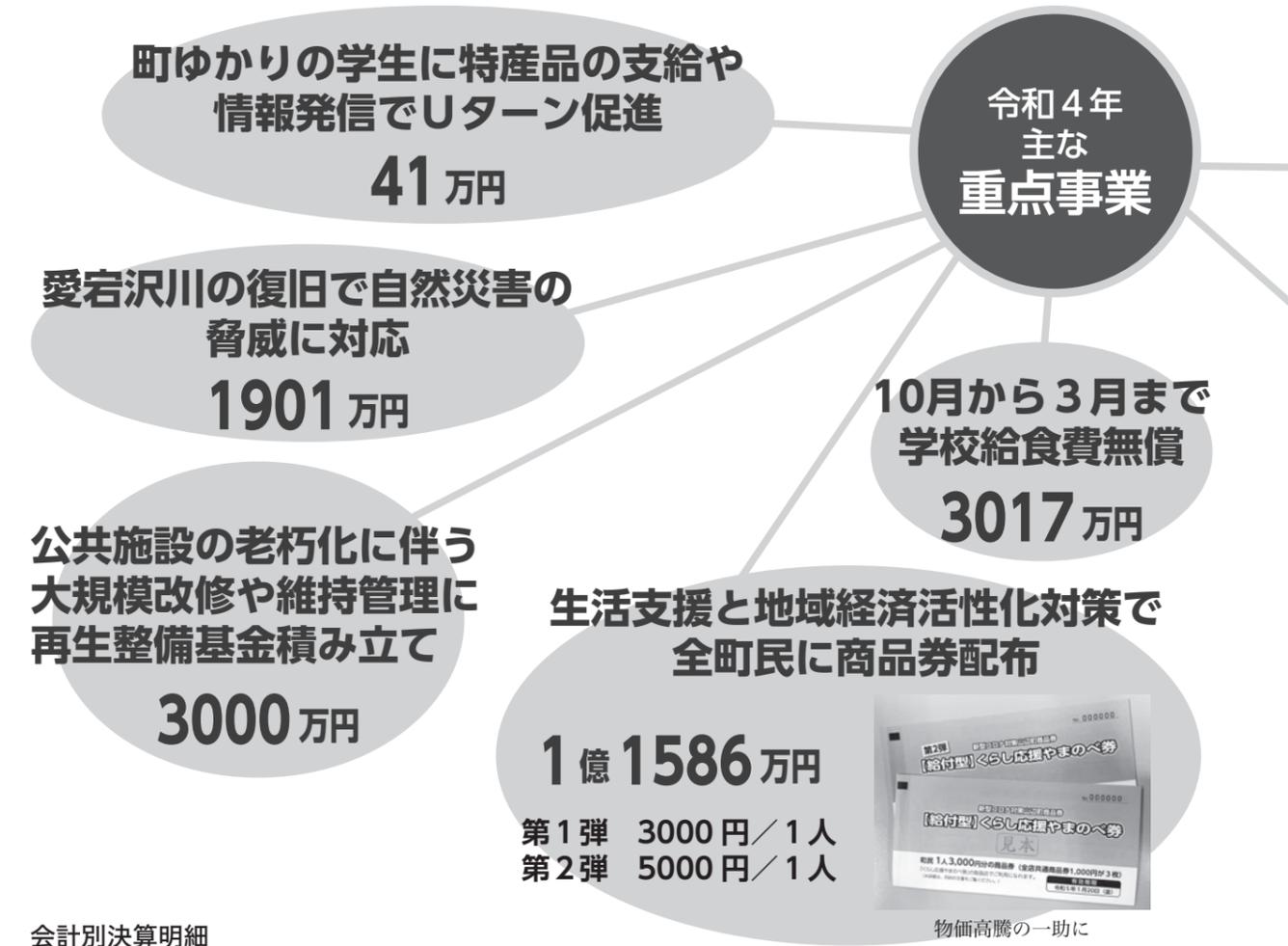
認定

第3回
定例会
9/21~10/4

さらに安全で安心して暮らせるまちへ

定例会のあらまし

令和5年第3回定例会が、9月21日から10月4日までの14日間の日程で開催され、4人の議員が一般質問を行いました。また、決算委員会を設置し、令和4年度一般会計・特別会計・公営企業会計の歳入歳出決算、ならびに補正予算を審議しました。



災害時の緊急伝達手段である
防災情報システム機器更新
1540万円

令和4年度ふるさと納税額
5億4320万円

(主な活用事業)

- 子育て支援医療給付、小中コンピューターリースなどに 1億500万円
- こだわりの「ものづくり」のまち関連へ 2650万円
- 地域コミュニティ推進へ 1000万円
- ふるさと応援事業などへ 2億2250万円



子どもたちの学習支援に

会計別決算明細

項目	歳入決算額	歳出決算額	
一般会計	69億7875万7572円	66億3962万4607円	
特別会計	国民健康保険	13億9361万3627円	13億7238万365円
	介護保険	15億8286万6984円	14億2065万2278円
	後期高齢者医療	1億7358万32円	1億7196万8532円
	計	31億5006万643円	29億6500万1175円
合計	101億2881万8215円	96億462万5782円	

公営企業会計決算

項目	収益的収入	収益的支出
簡易水道事業会計	2582万6123円	3362万4927円
公共下水道事業会計	3億4799万19円	3億3280万7812円

監査委員報告



遠藤剛代表監査委員

令和4年度山辺町決算結果は、総体的に、法令・条例及び規則に準拠し処理されており、予算の執行も適正である。歳入においては、収納対策の強化の成果と、ふるさと納税寄附金の大幅な増加など取り組みを評価する。また実施された未利用物品の処分など、今後においても公有財産の有効活用を進め、財源の確保を望む。

歳出は、各課が業務の向上対策とした調査や検討がなされること、また昨年度の指摘事項の検討結果や検討の進捗状況をPDCA^{*}サイクルの下、今後、より効率的・効果的な予算執行を図りたい。

最後に、令和4年度においては財政健全化判断比率の数値も好転する結果となったが、将来の人口、展望を見据えた基金の増額を含めた財政健全化と中長期的な公共施設管理計画に基づく適切な財政管理を望む。新型コロナウイルス感染症の影響として、今後、歳入の減少や町の負担が増えることが想定されるが、健全な財政運営と財政基盤の確立を図りたい。

* Plan (計画)・Do (実行)・Check (評価)・Action (改善)、この4つを繰り返すことにより継続的に改善していく手法のこと

町民の暮らしを支える予算 **チェック** どう使われましたか？

決算特別委員会 **Q&A**

9月25日に、議長を除く全議員が所属する決算特別委員会が設置され、委員長に竹俣朋議員、副委員長に武田啓一郎議員を選出しました。26日、27日は第一分科会（総務文教関係）、28日、29日は第二分科会（厚生産業関係）の審査を行い、10月4日の本会議にて全員一致で認定しました。



愛する猫の健康のために

Q 愛玩動物等飼育衛生指導事業の猫避妊・去勢手術費補助金交付件数は、地域などからの申し込みもあるのか。

A 令和5年度中に1000万人達成の見込みである。（町民生活課）

Q 山辺温泉保養センターの利用者は1000万人に達したのか。

A 補助実績は35件で23万8100円。申し込みは個人からの申請だけだった。（町民生活課）

厚生産業 第2分科会 町民生活課・保健福祉課・産業課 農業委員会・建設課

Q 少子化対策事業の結婚支援で、婚活支援員の紹介実績は。成婚報酬は。

A 町外在住者も含めて、相談107件、お見合い105件、交際45件のうち成

Q ギフトは予算額に合せて町で選定し、内容は応援メッセージカード、子育てパンフレット、非常用液体ミルク・粉ミルクなど。55名に贈呈した。（保健福祉課）

Q 空き店舗・空き工場などの活用補助である。改装補



こんにちは赤ちゃん、すくすく育て

Q 商工業振興事業の空き店舗対策支援事業とは。

A 観光振興計画策定に関して、観光客数が落ち込んでいるが、呼び込むための

Q 県のように赤ちゃんと応援メッセージ・ギフトの内容は。また何人分か。

A 特産品への支給の申し込みは、前年度より約20名増の91名の申し込みがあった

Q 観光振興計画策定に関して、観光客数が落ち込んでいるが、呼び込むための方策は。

A 観光客の多様化、人口減少などで、確かに観光客は落ち込んでいる。町内の観光スポット、観光資源、特産物などを知らないとの声が多い。情報発信、観光機運醸成、人材育成などを行っている。（産業課）

Q 町の住宅リフォーム等総合支援事業で町では14件の実績となっているが、どうやって選定したのか。

A 観光の多様化、人口減少などで、確かに観光客は落ち込んでいる。町内の観光スポット、観光資源、特産物などを知らないとの声が多い。情報発信、観光機運醸成、人材育成などを行っている。（産業課）

Q 観光振興計画策定に関して、観光客数が落ち込んでいるが、呼び込むための方策は。

A 観光客の多様化、人口減少などで、確かに観光客は落ち込んでいる。町内の観光スポット、観光資源、特産物などを知らないとの声が多い。情報発信、観光機運醸成、人材育成などを行っている。（産業課）

Q 観光振興計画策定に関して、観光客数が落ち込んでいるが、呼び込むための方策は。

A 観光客の多様化、人口減少などで、確かに観光客は落ち込んでいる。町内の観光スポット、観光資源、特産物などを知らないとの声が多い。情報発信、観光機運醸成、人材育成などを行っている。（産業課）



大幅アップのふるさと納税

Q 差し押さえ件数73件の内容は。競売は実施しているのか。

A 令和3年度の消防団再編などで、不要となった消防車両4台を売り払った。（防災対策課）

Q 消防団物品売却収入374万円と大きい金額だが、内容は。

A 令和3年度と比較して利用者が730人減。コロナ前の令和元年度と比較しても、令和4年度は3000人減っている。（総務課）

Q ふるさと納税の寄附金が約5億4千300万円と大幅に伸びたが、町の特徴的な取り組みは。

A 73件は調査をした全件数、差し押さえ充当したのは40件。競売は実施していない。（税務課）

Q 学生等のつながり地域定着促進事業の効果は。

A 特産品への支給の申し込みは、前年度より約20名増の91名の申し込みがあった



町ゆかりの学生に特産品をお届け

Q いじめ問題の件数と教育委員会の対応は。

A 令和4年度いじめ認知件数は、小学校で195件あり、内190件は解消。5件は解消に向け取り組み中。中学校は8件あり、全て解消している。学校で聞き取りや面談を行っており、学校と連携し、対策を検討している。（教育委員会教育課）

Q SNSでのアンケート調査（Uターン意向など）や、毎月1回情報発信を行っている。

A アンケートの回答には「特産品が生活の糧になる」や、「県内の就職情報が役に立った」などがあった。（政策推進課）

総務文教 第1分科会 総務課・防災対策課・税務課・会計課・政策推進課 教育委員会教育課・議会事務局

決算特別委員会

安心・安全な
まちづくりを目指して

議案審議

令和5年度一般会計補正予算
歳入歳出それぞれ1億836万円を追加し
総額62億7052万円に

第3回定例会
9月21日～10月4日

条例の改正

山辺町消防団の設置等に関する
条例の一部を改正

・消防団員の定数350人を295人に。
(令和5年10月1日施行)
・定数の43人以内に、特定の任務に従事する「機別団員」を設置する。
また、消防団員の出勤報酬を引き上げる。
(令和6年4月2日施行)

山辺町特別職の職員の給与に関する
条例の一部を改正

・消防団員(班長及び団員階級)の年額報酬を引き上げる。
(令和6年4月2日施行)

山辺町医療給付金支給条例の
一部を改正

・子育て支援医療について、外来療養の支給対象を18歳に達する日以後の最初の3月31日まで引き上げる。
(令和5年12月1日以後に行われた医療行為が適用)

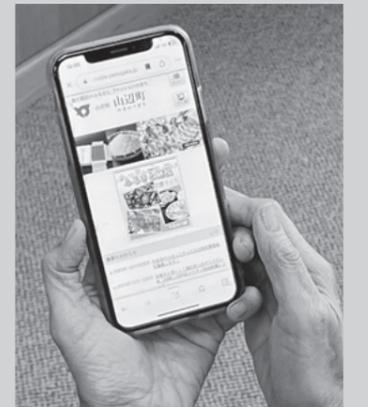
山辺町飲料水供給施設条例の
一部を改正

・「西黒森、櫛実沢、摂待」、「杉下」の給水区域の円滑な推進と受益者負担の

令和5年度 山辺町一般会計補正予算

主な補正内容

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業
接種委託とコールセンター業務委託に……………1144万円の増
- 子育て支援医療給付事業
外来療養の支給対象を引き上げ……………320万円の増
- 福祉灯油購入費助成補助に……………255万円の増
- 高齢者施設等物価高騰対策支援に……………250万円の増
- ホームページ管理事業
ホームページデザイン変更業務委託に……………330万円の増
- シティプロモーション推進事業
(SNS運用委託など)に……………313万円の増
- 戸籍事務事業
(記念撮影ブース購入)に……………47万円の増
- 光ファイバー共架・添架移転工事
(湯舟地区)に……………231万円の増
- 道路除雪業務委託に……………3000万円の増



ホームページをさらに見やすく

公平性を図るため、料金の見直しを行う。
(令和6年4月1日施行)

報第3号

令和4年度健全化判断比率及び
公営企業の資金不足比率について
本制度による審査が始まった平成19
年度以降、実質赤字比率、連結実質
赤字比率は当該比率がなく、令和4
年度は将来負担比率もなしとなった。

議員発議第3号

食料・農業・農村基本法の見直し
に関する意見書を提出

人事案件

山辺町教育委員会委員任命に同意
黒坂雅人氏(畑谷)

町選挙管理委員会委員及び
補充員の選挙

選挙管理委員 村山賢司氏、宗田一彦氏
鈴木勇一氏、大沼砂織氏
補充員 樋口秀顕氏、元木幸子氏
渡邊真好氏、栗原泉氏

特別会計補正予算

会計名	予算増減	総額
国民健康保険	843万円の減	14億4145万円
介護保険	1億5737万円の増	18億3121万円
後期高齢者医療	149万円の増	1億8008万円

公営企業会計補正予算

会計名	予算増減	総額
簡易水道事業	77万円の増	3709万円
公共下水道事業	185万円の減	3億6228万円

※収益的支出を記載。

請願第1号

請願名	食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願		
請願者	山形農業協同組合 代表理事組合長 岡崎輝明 山形農協農政対策協議会 会長 岡崎輝明		
趣旨	国から令和5年度の食料・農業・農村基本法の見直しが示された。現在、生産資材の価格高騰など食料安定供給リスクが顕在化し、その深刻化が懸念されていることから、食料安全保障強化の実現に向け、現場の課題を十分に検証したうえで適正かつ万全な対策を講じるよう求める。		
紹介議員	武田啓一郎	結果	採択



一般質問 町政のここはどうする?

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。



定例会のお知らせ

次回の定例会は12月です。傍聴については、町ホームページをご覧ください。電話 023-667-1117 (議会事務局)



9月の定例会では、4名の議員が一般質問を行いました。

鍋倉 竹志	議会活性化	今般の町議会選挙無投票当選の事態を受け、町当局が取り組むべきことは
村山 幸一	まちづくり	アフターコロナにおける地域コミュニティづくりビジョンについて
鈴木 誠也	人材育成	やまのべの未来のために人材育成を
日野 一春	子育て支援	小中学校・給食費の無償化並びに高校生までの医療費・無料化について

議会活性化



鍋倉 竹志 (町長) 議会と町が連携し、鋭意取り組んでいく必要がある

町議会選挙無投票当選を受け、町が取り組むべきことは

質問 地方政治の重要性をアピールし、政治活動への参加を促す活動が重要では。

答弁 政治に興味を持つてもらおうことも「政治への参加」になるのではないかと。まずは議会の傍聴者を増やすことが大切。動画配信サイトで定例会等を配信しており、どこでも議会を傍聴できる環境だ。

質問 町議会議員を目指す方が立候補しやすい環境となるよう、町では「選挙運動費用に関する公費負担制度の実施」や「公営ポスト」の発行、「公営ポスター掲示場の設置」を行っている。

答弁 町議会議員を目指す方が立候補しやすい環境となるよう、町では「選挙運動費用に関する公費負担制度の実施」や「公営ポスター掲示場の設置」を行っている。政策立案については、議員研修などへ積極的

に参加できるように環境整備に努めている。

質問 議員の定数と報酬についてはの考えは。

答弁 議員報酬や議員定数については、議員や町民の皆さまそれぞれに、さまざまな考え方があられる。議員報酬や議員定数については、まずは議会内での議論を充分に行う必要に感じ、町として対応していくことになる。



政治への参加を

質問 選挙へ出馬・立候補するための環境整備、政策立案のトレーニングが重要では。

答弁 選挙に興味をもってもらうために、傍聴者を増やす方法など、議会側からの要請があれば検討していきたい。

人材育成



鈴木 誠也 (町長) 「人づくり」「絆づくり」という社会教育が果たす役割は大きくなっている

やまのべの未来のために 人材育成を

質問 次世代に託すための人づくり、町づくりの基盤をつくっていく考えは。

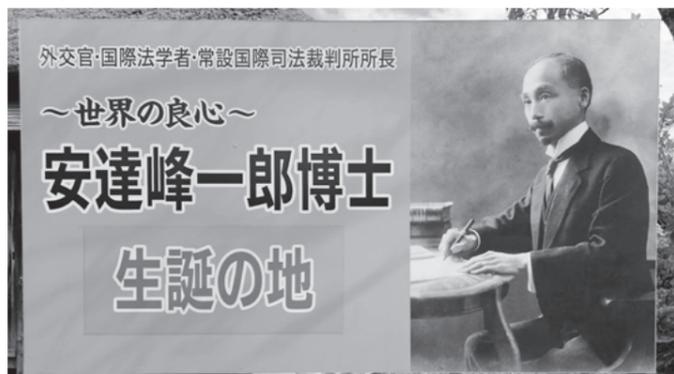
答弁 各種団体などと連携しながら社会教育活動に取り組んでいくことが、将来的な「ひとづくり・町づくり」の基盤になっていくものと考えている。

質問 やまのべの未来のために行政と住民との勉強会開催の考えは。

答弁 社会教育は、人々の自発的な学習活動を基盤としており、行政側から学習課題を町民に与えることはなじまないため、社会教育における、行政と住民との勉強会の開催については考えていない。

質問 町長は起業家でもありますが、町のトップとして独自の人材育成の考えは。

答弁 各公民館やふるさと資料館において地域の魅力を生かした講座を開催し、興味を持ってもらうことが人材育成につながるかと考えている。



安達峰一郎博士に続く人材を

外交官・国際法学者・常設国際司法裁判所所長
～世界の良心～
安達峰一郎博士
生誕の地

質問 町では、ブロック協議会へ補助金を交付しているが、その成果と効果は。

答弁 地域の実情やその時々状況に応じながら、町内会単位を超えてさまざまな形で地域課題などの解決に向けた取り組みが継続的に行われている。しかし、時間の経過に伴う意識の変化もあり、ブロック協議会ごとの地域コミュニティ組織の活動にも温度差がみられ今後の課題である。

質問 今後の「地域コミュニティづくり」について、町としてのビジョンは。

答弁 町内会を基本として、より充実したブロック協議会の体制づくり、公民館などを拠点とした活動、地域活動への



安全なまちづくりは地域から (近江地区防災訓練)

質問 町は、ブロック協議会を発足させてから9年になる。発足前と現在を比較してどう進化してきたと捉えているか。

答弁 令和元年度までは、主に地域の特色を生かした事業や住民のつながりや「絆」を深める事業が行われたが、令和2年度の補助制度の見直し以降は、地域課題解決に取り組む事業へと移行を進め、防災意識の向上や住民同士の協力意識の改革、地域環境への美化活動の促進が図られている。

質問 令和元年度までは、主に地域の特色を生かした事業や住民のつながりや「絆」を深める事業が行われたが、令和2年度の補助制度の見直し以降は、地域課題解決に取り組む事業へと移行を進め、防災意識の向上や住民同士の協力意識の改革、地域環境への美化活動の促進が図られている。

継続的な支援・推進が必要と考え、令和6年度から補助制度を見直し、地区とブロック協議会との「つながり」をさらに強化し、活動の活性化につなげていきたい。さらに、職員地域担当の推進により協働のまちづくりに必要な情報提供と活動提案を行うなど、町民と行政による信頼関係に基づくパートナーシップの推進を図っていく。

質問 人材育成は町にとって一番の大事なことだと考えている。未来の山辺町を元気にしていくために、住民の皆さんと協働のまちづくりを実践していく。

答弁 人材育成は町にとって一番の大事なことだと考えている。未来の山辺町を元気にしていくために、住民の皆さんと協働のまちづくりを実践していく。

町の財産を生かし うるおうまちづくり

子育て
支援

給食費・子ども医療費の 無償化について



一春（町長）保護者の経済的負担の軽減を図り、子育て支援を推進する

質問 私は選挙中、以前の立候補準備中に、おいて町内各地域のかがたがたへ町政への考えを街頭から直接的に言葉で訴え、また広報ビラでお伝えしてきた。そのなかで多くの町民が関心を寄せてくださった町の施策が「小中学校給食費の無償について」と「子ども医療費無償の内容」だった。

子ども医療費助成制度は、高校3年生まで無料であれば子供も保護者も懐具合を心配せずに医療機関に安心して受診できる。

答弁 学校給食法により給食の食材料料費については保護者負担が原則だが、町では保護者の経済的負担の軽減を図り子どもの健やかな成長と子育て支援を推進することを目的として、令和4年10月から令和6年3月までの給食費について無償措置を実施している。以降も継続できるように努めていく。

前述の2項目は本来、国の子育て施策でやるべきことである。しかし、国がなかなかやらないので革新的な自治体が一步、実現への道筋をつくり、全国

の自治体へと波及している。町中学校の給食費無償助成制度と高校生の医療費無償助成制度について、町長の考えは、



野菜の収穫体験。給食を残さないようがんばります

平成26年度から、中学校3年生までを対象として、「子育て支援医療給付事業」を実施してきた。本年4月からは入院診療にかかる費用の助成を高校生にまで拡大して実施している。外来診療にかかる費用助成については、令和5年12月の受診分からなるよう本議会に上程したところである。

県町村議会広報研修

住民目線の見やすい紙面づくりを

山形県町村議会議長の広報研修会（議会広報クリニック）が7月18日ビッグウイングで行われ、委員5名が参加しました。講師はグラフィックデザイナーの長岡光弘氏で、「紙面表現の基本を知る」と題して講演をいただき、その後各議会だよりの講演をいただきました。

今後は、
①内容をわかりやすく明確に
②長文は避け、日付や項目を簡潔に
③住民目線の見やすい紙面などにさらに気を付け、ますますわかりやすい議会だよりを作りあげていきたいと思えます。また、これからも町民皆さまのご意見なども掲載できるように努力していきたいと思えますので、取材へのご協力もお願いいたします。

議会広報誌の特性としては
①全世帯に配布される
②他のプリントメディアに比べて情報量を多く発信できる
③手に取ってじっくりと読めるなどがあり、それを活かす重要性を学びました。



今回も褒められました

やまのべ議会だよりは、表紙の構成はデザイン的によくできている。色彩もうまく使っている。全体に見やすいレイアウトなど、全般的には良い評価をいただいたものの、中紙面の一部は、条例の一部改正の内容がなく、住民に伝わりづらい部分があるなどの指摘をいただきました。

議会 活動報告

新しい町への挑戦

国道458号改良促進特別委員会

大寺中心部は両側歩道に

国道458号に関連する主要地方道山形朝日線山辺地区の交通安全道路事業（上宿―大寺西之表間）が、大きく前進する計画変更案の動きがあるとして、鈴木学県議会議員からも特別同席をいただき、建設課長より説明を受け、現地検分も行いました。

整備区間の延長と西之表交差点から北にむかつて大寺地内信号機交差点までを、両側歩道設置として取り組むなどの計画変更案の説明を受けました。



歩行者の安全のために早期の歩道設置を

出羽丘陵東斜面を貫く国道458号が、県内で最も住み続けたい町の交通アクセス、生活環境ともに最適な地域沿線となるように、一日も早い改良促進整備が期待されています。

引き続き、熱い思いを持って、町、そして鈴木学県議会議員とともに、国道458号改良促進活動を展開していくこととします。

政策提言

議会が「政策提言書」を提出

町の政策が発展的、効率的に行われるよう、各常任委員会で議論し検討してきた政策の方向性を「提言書」に取りまとめ、10月25日神保稔議長から町長に提出しました。

- 1 防災備蓄品の内容と量の充実と、自主防災組織の活発化を促す施策を。
- 2 いじめ問題について、引き続き学校や家庭、地域と連携した未然防止の対策を。
- 3 大きく伸びたふるさと応援寄附金の返礼品の充実や確保をし、あらたな基準に則してさらなる事業拡大を。
- 4 財政調整基金、公共施設等再生整備基金、ふるさとづくり事業基金を貴重な財源として積極的に有効活用を。
- 5 山辺温泉保養センター内の空き部屋などを活用して誘客を図り、観光資源としての位置づけを。
- 6 成果をあげている婚活支援事業は少子化問題の改善にも
- 7 つながるので、さらなる支援を。県が再整備をする方針を示している畑谷の県民の森に關し、町も県との連携を図り、大切な観光資源と位置づけし、交流人口の増加を。
- 8 インフラ整備に關し、長期的な計画を立て、国や県の補助金や助成金を活用して、町の持続可能な社会構築のために効果的な投資を。

（提言書に則し、わかりやすい文言にして掲載しています）



より良いまちづくりのために

一般質問・議会のついで

町の財産を生かし うるおうまちづくり

行政視察研修

魅力ある観光地域づくりを

令和4年12月に「山辺町観光振興計画」が策定されました。町内の観光資源をつなぎ、生かし、町全体で観光振興を推進しようとしています。

これを受け、わが議会でも、先進地と意見交換し見識を深めることを計画し、10月16日〜17日に福島県三春町と棚倉町へ行政視察研修に行ってきました。

三春町は有名な滝桜のほかの資源も観光につなげたいとの思いと、郡山市との広域連携などの可能性から、平成26〜27年度に日本観光振興協会の「魅力ある観光地域づくり推進モデル事業」の地域に選ばれ、事業を進めていきました。観光資源の掘り起こしと観光イベントの実施など、官民一体となり事業を進め、桜の季節以外にも観光客が訪れ、街なかも賑わいを見せています。事業の実施を契機とし、町の観光振興事業に本格的に取り組まれています。

棚倉町は神社仏閣と蔵の町です。棚倉町の歴史と文化に触れ、

観光ガイドのあり方なども勉強しました。

わが町も三春町のように、県で一番大きい市に隣接しています。また棚倉町同様に寺院の多い町です。三春町、棚倉町の良いところをしっかりと取り入れて、議員一丸となり、より良いまちづくりに生かしていきたいとの思いを強くしてきました。このたびの行政視察研修で得たものを必ず役立ててまいります。



三春町の観光振興の説明に真剣に聞き入る

町村議会議員研修

地域農業と地方自治の

これからの展望を学ぶ

令和5年度町村議会議員研修会が10月20日、ビッグウイングにおいて開催されました。

最初に、東京大学教授 鈴木宜弘氏より「今後の日本農業の課題」について講演がありました。まず、自国で安全で安心な食料を生産し、加工、流通させ、最終的に消費に結びつけることの重要性についてお話がありました。さらに、食料の安全保障が、コロナ禍や世界の地域間の紛争により脅かされている状況下にあるため、自給率を高める必要性も説かれ、地域農業、国内農業をまもるための行政の役割が大きいことに触れられ、難しい内容も笑いを交えながら、わかりやすくお話いただきました。

続いて、大正大学教授 江藤俊昭氏より「町村議会のあり方」についての講演です。2023年の統一地方選挙において、議員のなり手不足の深刻化と、投票率の低下、無投票当選者の増加が課題と挙げられました。立候補者数を上げるためには、女

性や若い世代からの立候補を促す必要と、議会の活性化に必要な手法の構築について熱く語られました。

農業では、安全な日本の食料をまもるため、持続可能な、健康で豊かな未来につなげるよう、食に携わる企業が支え合うことの重要性を、町村議会では、議員の使命の再確認と、住民自治に積極的に関わる必要性を学びました。有意義で、大変勉強になる研修会でした。



県内町村議員が一堂に会して学ぶ

広報常任委員会紹介

絶賛手作り中!

8月27日執行の議員改選にともない、広報常任委員会の委員も新しくなりました。多くの町内外の皆さまにしっかりと読んでいただける議会広報誌を目指して、紙面づくりに勤しんでいきたいと思っております。

議会での文言はわかりにくいものもたくさんあります。「これはどういう意味なの?」「ここはどのような内容を示しているの?」など、わからない表現があったら遠慮なくお尋ねください。読みやすくわかりやすい議会だよりにして、皆さまのご意見を町政に反映できるように、委員会メンバー一同頑張つてまいります。

また、皆さまとまちづくりについてお話しする出前議会で、生の声をお聞かせください。出前議会は少ない人数でもご指定いただいた会場にこちらから伺います。近くの議員までお申し込みください。お待ちしております。



新メンバーでがんばります

朝日山辺両町協議会役員会が10月12日に、朝日町役場で開かれました。協議会は11月13日に開かれます。詳しくは次号にて!

2人の議員が退任

8月の改選にあたり、2名の議員が退任されました。町民皆さまの負託を受け、声を届け、町政発展にご尽力いただきました。ご活躍お疲れ様でした。



齊藤 昭彦氏
在職16年



峯田 博氏
在職4年

近隣市町のイベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
かみのやま ラ・フランス スイーツフェスタ	上市市内	11月11日(土) ~ 12月中旬	「平棚仕立栽培」で特別に育てられた「かみのやまラ・フランス」。かみのやまラ・フランスを使ったオリジナルスイーツを上市市・山形市の菓子店13店舗が開発しました。甘くなめらかで芳醇なラ・フランスをスイーツハシゴで楽しんでください。	上市市農林夢づくり課 Tel.023-672-1111
上山城元旦登城	上山城	令和6年 1月1日 (月・祝) 午前7時15分~ 午後4時(予定)	新年の幕開けに上山城の天守閣で、「三つの吉」と書く縁起の良い三吉山からの初日の出を拝んでみませんか。先着の方には記念品の配布を予定しております。	公益財団法人 上山城郷土資料館 Tel.023-673-3660
中山町初市	中山町いずみ ひまわり温泉 ゆ・ら・ら前	令和6年 1月14日(日) 午前10時30分 から	商売繁盛を願い江戸時代から続く伝統行事「初市」	中山町観光協会事務局 Tel.023-662-2114